

平成31年 第1回 西区区づくり推進横浜市議員会議

平成31年2月5日(火) 16時開始
西区役所4階4A会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 平成31年度 西区編成予算(案)について
- (2) 平成31年度 西区編成予算(案) 主要事業説明について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進
 - イ 西区ふれあい福祉推進事業
 - ウ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - オ 子育て支援の推進
 - カ 家計のやりくり応援事業
 - キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - ケ 交通安全事業
 - コ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - サ 地域防災活動推進事業
- (3) その他
 - ア 西区における開発動向等について
 - イ 市民病院再整備事業の進捗状況について

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 平成31年度 西区編成予算（案）について

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ ～

西区は、「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ」を基本目標に、地域の皆様と区役所が連携・協力し、さまざまな地域課題の解決を図りながら、より良いまちづくりを進めていきます。

31年度は、第3期「にこまちプラン」の4年目を迎え、最終年度に向けて取組を一層進めるとともに、引き続き西区行動指針に基づき地域包括ケアシステムの構築を進めます。計画を踏まえ、基本目標の達成に向けて、

5つの柱を掲げ、西区の特性を生かした様々な事業に取り組みます。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

1 区分別総括表

(単位:千円)

	31年度予算額	30年度予算額	差引
自主企画事業費（ア）	99,781	97,157	2,624
統合事務事業費（イ）	35,124	20,440	14,684
統合事業費（ウ）	14,616	0	14,616
統合事務費（エ）	20,508	20,440	68
区庁舎・区民利用施設管理費（オ）	444,548	443,317	1,231
合計（ア+イ+オ）	579,453	560,914	18,539

<再掲>

	31年度予算額	30年度予算額	差引
自主企画事業費の実質増（ア+ウ）	114,397	97,157	17,240

<参考>

区局連携促進事業（総務局）

(単位:千円)

	31年度予算額	30年度予算額	差引
緊急時情報システム運用試行事業	870	899	▲ 29

温暖化対策プラス事業（温暖化対策統括本部）

(単位:千円)

	31年度予算額	30年度予算額	差引
区民利用施設の設備更新等による温暖化対策事業	17,930	2,890	15,040

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	31年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	10,147	「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進、西区ふれあい福祉推進事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	22,182	高齢者あんしん生活サポート事業、家計のやりくり応援事業、女性と子どものための相談支援強化事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	27,238	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業、商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
安全・安心なまちづくり	29,785	地域防災活動推進事業、食中毒・感染症予防対策事業
親しみやすい区役所づくり	10,429	サービス改善推進事業、広報充実事業
合 計	99,781	〈34事業〉

(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	31年度予算額	主な施設等
区庁舎	50,219	西区役所
行政サービスコーナー	6,942	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,198	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,022	西土木事務所
公会堂	35,372	西公会堂
地区センター等	89,316	西地区センター、藤棚地区センター等
ログハウス	8,310	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	53,674	野毛山荘
コミュニティハウス	72,979	戸部コミュニティハウス等
区スポーツセンター	92,188	西スポーツセンター
広場・遊び場	236	西平沼こどもの遊び場等
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,092	
合 計	444,548	

平成31年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるもの

1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	31年度 事業費	30年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	3,390	1,894	1,496
2	拡充	西区ふれあい福祉推進事業	3,888	3,707	181
3		地域活動事業〔統合事業費に一部移管〕	2,869	2,329	540
小 計			10,147	7,930	2,217

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	31年度 事業費	30年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	高齢者あんしん生活サポート事業	2,729	2,684	45
2	拡充	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,519	1,908	2,611
3	拡充	西区で子育て学び隊事業	2,294	2,107	187
4	拡充	西区の保育施設つながり事業	761	836	▲75
5	拡充	女性と子どものための相談支援強化事業	655	532	123
6	新規	家計のやりくり応援事業	605	0	605
7	拡充	健康づくり応援事業	1,792	1,329	463
8	拡充	読書活動推進事業	1,727	1,073	654
9		地域子育てサロン運営支援事業	541	250	291
10		区役所キッズスペース運営事業	5,098	4,594	504
11		地域の力を生かしたスクールサポート事業 〔統合事業費に一部移管〕	1,461	1,861	▲400
12		スポーツ活動団体支援事業〔統合事業費に移管〕	0	1,285	▲1,285
13		青少年育成団体支援事業〔統合事業費に移管〕	0	1,519	▲1,519
小 計			22,182	19,978	2,204

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	31年度 事業費	30年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	4,400	5,500	▲1,100
2	拡充	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	5,279	3,010	2,269
3	拡充	ふるさと西区魅力発信事業	4,512	3,962	550
4	拡充	西区民まつり	5,920	3,920	2,000
5	拡充	スポーツ振興等事業	4,475	3,875	600
6		地域文化振興事業	1,166	1,154	12
7	拡充	広報充実事業 《5-4 ⇒ にしくまち歩きマップ分》	1,486	0	1,486
小 計			27,238	21,421	5,817

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	31年度 事業費	30年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	交通安全事業	2,290	1,649	641
2	拡充	安心して暮らせるまちづくり推進事業	2,008	1,012	996
3	拡充	地域防災活動推進事業	12,773	9,874	2,899
4	拡充	食中毒・感染症予防対策事業	1,271	974	297
5	拡充	西区ヨコハマ3R夢推進事業〔統合事業費に一部移管〕	2,032	2,526	▲494
6		放置自転車対策事業	5,090	5,063	27
7	拡充	西区温暖化対策推進事業	4,321	4,009	312
8		特別避難場所へのガス発電機整備〔事業終了〕 《 障害のある人も住みやすいまちづくり事業 》	0	759	▲759
小 計			29,785	25,866	3,919

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	31年度 事業費	30年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	区総合庁舎等環境整備事業	6,375	6,375	0
2		サービス改善推進事業	564	653	▲89
3		人権啓発推進事業	316	316	0
4		広報充実事業〔統合事業費に一部移管〕 《 にしくまち歩きマップ分 ⇒ 3-7に計上 》	1,349	10,987	▲9,638
5		区民生活マップ作成事業	815	1,247	▲432
6		統計便覧作成事業	600	600	0
7		区政推進運営事業	410	410	0
8		区づくり推進総合調整事業〔事業終了〕	0	500	▲500
9		区民相談事業〔統合事業費に移管〕	0	874	▲874
小 計			10,429	21,962	▲11,533
総 合 計			99,781	97,157	2,624

3-(2) 平成31年度 西区編成予算（案）主要事業説明について

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進 （福祉保健課）（区政推進課） （地域振興課）（高齢・障害支援課） 【予算額 3,390千円（対前年度比 1,496千円増）】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン）を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

平成31年度は、「第3期（H28～32）にこまちプラン」の4年目を迎え、より着実な計画の推進を図り、地域主体の取組を進めていくとともに、特に地域で課題となっている「担い手づくり」「居場所づくり」に関する取組を継続して進めます。加えて、現行計画の進捗等の振り返りを実施し、次期第4期計画の策定作業に着手します。

また、「西区地域のつながりを育み強める補助金」等の活用や、地域づくり大学校とも連携しながら、地域の取組をより効果的に支援します。

(1) 「にこまちプラン」の推進等（3,390千円）

① 担い手づくり・居場所づくり

区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に、地域とのつながりを深めていく機運を高めるための講座を開催します。

② こども向け啓発事業の実施

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、こどもたちが「自分にできること」をにこまちプランの取組目標と関連付けながら考える機会を創出します。（5回予定）



こども向けにこまちプラン啓発事業の様子

③ 推進・評価委員会、プランの啓発・PR

- ・プランの推進状況を確認するため推進・評価委員会を開催します。（6月予定）
- ・地域による取組の発表を中心に、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、「にこまちフォーラム」を開催します。（2月予定）



にこまちフォーラムの様子

④ 次期第4期計画の策定【新規】

次期計画の策定に向け、アドバイザーの助言を踏まえながら現行計画の振り返りを実施し、計画の骨子を作成します。以後、推進評価委員会等の意見を聴きながら策定を進めていきます。

(2) 地域人材の育成・発掘と地域団体の連携推進（市民局 区配事業）

① 西区地域のつながりを育み強める補助金

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して行う、地域の課題解決、地域活動の担い手の発掘や育成への取組など、地域活動の充実及び自立に向けて、活動助成の一つとして補助金を交付します。

② 「協働の『地域づくり大学校』事業」

地域ケアプラザ等との連携を深め、地域活動の担い手となる人材の発掘と育成を目指します。

『地域づくり大学校』への関心を高めるためのプレ講座の開催や、一時託児についても引き続き実施し、子育て層の受講者拡大を図ります。



地域づくり大学校の活動風景

■参考（平成30年度実績）
 実施時期：9月～12月（全6回）
 テーマ：『自分らしさでつくる“プラスワン”のつながり』
 受講者数：14名（修了者数：13名）
 ※「地域づくり大学校」の講座内容を踏まえた、居場所づくりのガイドブック作成（3月末予定）

イ 西区ふれあい福祉推進事業

（福祉保健課）

【予算額 3,888千円(対前年度比 181千円増)】

地域でのひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の見守りなどを行う、自治会町内会単位の「ふれあい会」活動の支援、区民への広報・普及を行います。

これまでの対象に加え地域で見守りが必要と判断する世帯（日中ひとりになる高齢者がいる世帯、障害者のみの世帯など）へ対象を拡大するとともに、活動の担い手の負担軽減に配慮し、団体によって活動頻度を緩和できるように制度を変更します。

- ・ふれあい会への助成金交付（65団体）
- ・情報誌「みみより広場」発行（年4回）
- ・高齢者等の見守り活動に関する研修会

西区福祉保健センター 平成30年12月13日 第68号

みみより広場

発行：西区社会福祉協議会
 編集：西区福祉保健センター福祉推進課
 印刷：みみより広場
 〒650-8501 西区南船場4-1-1

みみより広場は、高齢者の健康増進、生活支援の推進を図るため、平成15年11月の発刊開始以来、休刊管理が難しい手前となりました。手洗い・うがいでかぜ等を予防しましょう。

まちのお元気さん

今回ご紹介する「まわりの元気さん」は、行部町に在住の81歳の加藤ツギ子さんです。加藤さんは、大正14年生まれ、95歳です。昭和23年に結婚してからずっと同棲は続き、4人家族とともに大府郡の中で、家業を切り盛りしてきました。40年以上前に西区内でボランティア活動をする団体を立ち上げたメンバーとして参加し、約20年間にわたりボランティア活動を続けてきました。最近では自宅周辺のゴミ拾いを自発的に行い、街の美化にも貢献されています。また、地区センターの体操教室に月4回参加し、現在45年目となりますが、毎年13日参加です。他にも85歳までテニスを楽しんでいたり、100歳が待たれたと主人と年々一歳、富士山に登ったり、これまでに4回も旅行した経験もあるなど、とても高齢な生活を送られています。

加藤 ツギ子さん
 そんな加藤さんに地域の福祉をよりよくするために「多くこと」聞き取り「多くこと」書くことと英語で話していただきました。今でも福祉教室の他の地域の方と積極的に交流したり、講師の立場まで果たに行ったり、またある日はお花を見に行こうと意気込んで観音さまの庭を散歩することも、活発な生活を送っておられます。これからも、健康の秘訣を語りながらお元気にお過ごし下さい。

(写真：取材/西区南船場ケアプラザ)

♪ いきいき 健康レシピ ♪ ☆レシピ紹介者 食生活改善推進員
 簡単に調理ができる、栄養バランスの良い料理をご紹介します♪

【材料】(2人分)	
みみより 1/8個	
冷凍凍かぼちゃでもよい	
レーズン(半斤1ドク)	
大きさ1	
牛乳	大きさ1.5
マヨネーズ	大きさ1.5
塩・こしょう	少々

かぼちゃのクリーム

- ① かぼちゃは種を除き、一口大に切り、ラップをして電子レンジに3分かける。(味がずっと通ればよい)
- ② レーズンは塩に渡し、柔らかくもどす。
- ③ ①をボールに入れてつぶし、牛乳、マヨネーズを加え混ぜ合わせる。塩、こしょうで味を整え、最後に水気を切ったレーズンを加える。

みみより広場

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,729千円(対前年度比 45千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区行動指針」に基づき、「認知症等高齢者を支える地域づくり」「地域包括ケアシステムの基盤づくり」「介護予防普及啓発」の取組を推進します。

(1) 認知症等高齢者を支える地域づくり (757千円)

① 認知症サポーター養成講座の実施

認知症にやさしいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じて、認知症サポーター養成講座を実施します。また、新たに小学生等を対象とした講演会(8月)を開催し、認知症の正しい知識と理解を周知します。

② 「お店版認知症ガイド」を活用した普及啓発

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、買い物に日頃訪れるコンビニエンスストア・商店街等の従業員に向けて認知症の人への対応のポイントや相談先を掲載した「お店版認知症ガイド」を作成しました。

今後は、本ガイドを活用し、普及啓発を行うとともに、地域における見守りの目としての意識醸成に努めます。



お店版 認知症ガイド

③ 企業連携による「もしもカード」の周知

徘徊や外出先での緊急時に備えたカード「もしもカード」について、高齢者等に配布するだけでなく、高齢者を支援する立場にある方へ周知するため、事業の趣旨に賛同する企業と連携しながら、さらに普及に取り組みます。



もしもカード

④ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数138名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。

(2) 地域包括ケアシステムの基盤づくり (825千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を行い、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 西区在宅療養ガイドの増刷【拡充】

在宅療養に関する理解を広めるため、平成29、30年度に作成した「西区在宅療養ガイド パート1・パート2」を活用し、シニアクラブ等へ周知・啓発します。

(4,000部発行)



西区在宅療養ガイド
パート1・パート2

③ 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル(2回)・地域包括支援センターレベル(4回)地域ケア会議にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。

(3) 介護予防普及啓発 (1,147千円)

① 区民向け膝痛予防講演会等の開催【新規】

介護予防に関する普及啓発の取組の一環として、アンケート結果からニーズの高い「膝痛予防」をテーマとした講演会(5月)・指導者研修会(6月)・体操講座(6～9月)を開催し、広く区民へ周知します。

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施

(健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数30名)の人材育成研修を実施するとともに、介護予防活動グループ交流会を開催し活動の充実を図ります。(年2回実施)



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実【拡充】

地域における介護予防に関する活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットの掲載内容を充実し、高齢者の活動の場や健康づくりの取組への参加につなげます。



「お元気活動応援マップ」
「健康づくり活動・グループ紹介」

④ 「ころばんよ体操」DVD等の増刷

「ころばんよ体操」のDVD(100枚)・解説書(3,000部)を増刷・配布し、地域における介護予防に関する自主的活動の把握や活性化のために活用します。

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,519千円(対前年度比 1,852千円増)】

(1) 障害理解促進のための啓発・PR事業 (3,440千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っています。

① 地域防災拠点訓練での啓発活動 (9月、4か所)

② 区民まつりでの啓発活動 (11月)

③ 西区ふれあい作品展 (12月、2か所)

④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動 (10月、12月、2月) 【拡充】

障害者と地域住民がふれあう場を創出する取組 (区内障害者施設の製品販売や作品展の開催、ヒューマンライブラリー) の実施



区民まつりでの啓発活動



ふれあい作品展

(2) 障害児・者の活動支援及び地域人材の育成・発掘・ネットワーク化 (1,079千円)

① 障害福祉関係情報冊子のリニューアル【新規】

事業内容や製品紹介ページを設けることで、当事者・家族だけでなく地域住民にも身近な地域に障害児・者の活動場所があることを知ってもらい、障害児・者の地域生活についての理解を深めます。

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための関係機関ネットワーク強化【新規】

当事者・家族を含めた勉強会の実施 (2回)



障害福祉関係情報冊子「こんぱす」
平成 27 年版

③ 電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者※への災害対策

- ・災害時個別支援計画 (「わたしの災害対策ファイル」) の作成支援
- ・ガス式発電機等を設置した福祉避難所 6 か所と連携した訓練の実施

※電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者とは、人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方。発災時には停電になることも想定されるため、生命に関わる事態も予想されます。

オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

【予算額 3,710千円(対前年度比 235千円増)】

本市の平均と比較して第1子率や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を進めるため、区内の地域子育て支援拠点や保育所等の関係施設と連携して事業を実施します。

(1) 西区で子育て学び隊事業

都市化により孤立しがちな子育て家庭に対して育児に関する正しい知識の普及と仲間づくりを進めます。赤ちゃん教室では、月齢に合った、子どもの成長を促す遊び方を学ぶ機会を増やします。

- ・赤ちゃん教室 : 9か所×年10回
(保育士による親子遊びの紹介【拡充】: 2回→3回)
- ・プレパパママ教室(土曜開催) : 年4回
- ・中学校いのちの教室 : 全5校



赤ちゃん教室の様子

(2) 西区の保育施設つながり事業

南浅間保育園において地域の親子を対象とした子育て支援事業を実施するとともに、子育て関連施設と連携して、育児講座や保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、対応が困難な保護者への関わり方について、保育所等職員を対象とした臨床心理士による相談・研修を実施します。

- ・地域の親子向け育児講座の開催(南浅間保育園) : 年5回
- ・出前合同育児講座の開催(西区子育て関連施設連絡会) : 区内7地区で各1回開催
- ・臨床心理士による相談・研修の実施【新規】 : 通年

(3) 女性と子どものための相談支援強化事業

乳幼児期から学齢期・思春期までの子育ての心配ごとに関する相談窓口を周知します。また、子どもの発達の特徴に気づいていない保護者に対しても、適切な助言を行えるよう、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談を実施します。

- ・子ども・家庭支援相談事業紹介ちらしの作成及び配付 : 2,000部
- ・3歳児健康診査時の臨床心理士による個別相談【新規】 : 年16回

カ 家計のやりくり応援事業【新規】

(生活支援課)
【予算額 605千円】

生活に困窮している方が、家計のやりくりの重要性を理解し、収支バランスの改善に自ら取り組むことができるワークブックを作成します。家計相談支援に実績のある事業体を作成を委託し、「効果的な節約方法や家計の安定に向けた改善方法等のアドバイス」や「世帯の収支や債務状況、目標とする収支」といった表を解説付きで盛り込みます。

また、作成段階から公租公課の徴収部門（税務課・保険年金課）と連携して、意見を取り入れ、公租公課の滞納解消に向けて活用します。さらに、地域の関係機関にも配布し、活用できるようにします。

（発行部数：400部、発行時期：10月予定）



相談の様子(イメージ)

■参考（生活困窮者自立支援制度）

生活保護に至る前の段階から、生活困窮状態からの早期脱却に向けて支援する「第2のセーフティネット」として、平成27年4月から全国的にスタートした制度です。

支援の対象者は、「就労状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義されており、経済的な困窮状態にある方を広く捉えています。

「住宅確保給付金」を除き、基本的に現金給付はなく、自立に向けた人的支援を有期で提供するという点が特徴です。

【生活困窮者自立支援制度の相談・利用実績】

	27年度	28年度	29年度	30年度 12月末
新規相談案件数	163	180	187	186
うち徴収部門経由	44	44	44	30
支援申込み件数 A	44	74	69	57
家計相談支援件数 B	20	31	39	21
申込み件数のうち 家計相談支援割合 B/A	45.5%	41.9%	56.5%	36.8%

【生活困窮者自立支援制度の支援メニュー】

支援メニュー	支援内容
自立相談支援	支援員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成します。
住宅確保給付金	離職によって住居を失った方等に、一定期間、家賃相当額を支給します。
家計相談支援	自ら家計を管理できるように、収支バランスや債務整理に関するアドバイスをします。また、債務相談や貸付窓口の紹介し、必要に応じ窓口まで同行します。
就労準備支援・ 就労訓練	すぐに就労することが難しい方に、生活習慣や基礎能力を養う支援をします。また、短時間就労の機会（いわゆる「中間的就労」）を提供します。
就労自立促進事業	区役所の中にある「ジョブスポット」（ハローワーク横浜の施設）を活用しながら就職活動をサポートします。
一時生活支援	住居を持たない方に対し、一定期間宿泊場所や食事を提供します。また、退所後の生活に向けた就労支援などの自立支援を行います。
寄り添い型 学習支援	生活困窮や養育困難などの課題を抱えている世帯の子どもに対し、将来の自立のための高校進学に向けた学習等の支援をします。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

- キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 等 (区政推進課)
ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 等 (地域振興課)
【予算額 12,579千円(対前年度比 1,719千円増)】

第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019TM、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大規模イベント開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

(7) 大規模イベント開催に伴う賑わい創出

(1) ラグビーワールドカップ2019TM開催に合わせたまちの賑わい

① 商店街連携イベントや商店街ツアーの開催 (2,139千円) 【拡充】

ラグビーワールドカップ2019TMファンゾーンの開催の機会を利用して、商店街の魅力を来街者等に広くPRを行うため、商店街と連携したイベントを開催します。

また、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的として、商店街を巡るツアーを6商店街で開催します。



ファンゾーン(イメージ)



商店街ツアー

② 「ラグビー教室」の開催【拡充】(市民局区配事業)

ラグビーワールドカップ2019TM開催に伴う機運醸成として、区内小学校において元日本代表選手などによる体験型のラグビー教室を開催します。

■参考(地域イベントでのPR)

市民局と連携してさくらフェスタ2019やみなとみらい大盆踊り、みなとみらい秋まつりでのブース出展などラグビーワールドカップ2019TM関連イベントを開催します。



こどもラグビー教室

(2) 第7回アフリカ開発会議開催に合わせた機運醸成の取組

- ① アフリカンフェスティバルin横浜西区の開催（1,000千円）【新規】
（その他、国際局及び文化観光局区配事業）

「第7回アフリカ開発会議（TICAD7）」の機運を高め、市民の皆さまにアフリカの文化への理解を深めていただくため、音楽・ワークショップなどが体験できるフェスティバルを開催します（8月上旬 2日間開催）。



アフリカンフェスティバル(イメージ)

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取組

- ① スポーツ振興の強化（1,900千円）
（その他、市民局区配事業）

区内小学校において、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室を4校で実施します。また、区民の皆さまに向けた啓発事業を引き続き実施します。



平沼小学校でのスポーツ教室



スポーツ講演会(三宅 義信 氏)

(4) 来街者等への広報充実及び魅力発信による回遊性向上

- (1) 多言語化によるインバウンド対応【新規】

- ① 公共施設案内サインの多言語化（1,500千円）

国道沿いに主に設置されている公共施設案内サインについて、多言語表記の見直しを行い、見やすく分かりやすい盤面に更新します。



公共施設案内サイン

② 英語版ガイド情報誌の作成 (2,000千円)

ガイド情報誌「ことりっぶ横浜西区さんぽ」の英語版を作成し、ラグビーワールドカップ2019™開催の機会等を利用して配布することで、来街者へ西区の魅力を発信します。

■参考 (ことりっぶ横浜西区さんぽ)
 発行：平成30年3月 (ふるさと西区推進委員会)
 発行部数：4万部 (約2万部配布済：12月末現在)
 配布場所：観光案内所、区内金融機関、区内主要ホテル、中央図書館
 西区役所、区内イベント会場 等
 電子書籍版アプリ無料コンテンツ
 ダウンロード数：4,634件 (1月20日現在)



ことりっぶ横浜西区さんぽ

(2) マップのデジタル化 (2,000千円) 【新規】

「にしくまち歩きマップ」及び「サイクルマップ」(平成31年3月発行)をデジタル化することで、スマートフォンでの閲覧や、英語による表示など、利便性向上を目指します。

■参考 (バイバイクのポートの増設)
 引き続き、既成市街地へのポート増設を図り、「まちの回遊性」を高めるとともに、既成市街地の賑わいに繋がります。



サイクルポート



まち歩きマップ

(3) 地域資源を活用した魅力発信 (2,040千円)

大規模イベント開催に伴い来街者が増加する機会を捉え、引き続き「西区フォトコンテスト」のパネル展を行い、西区の魅力を発信していきます。

また、フォトコンテスト応募作品やガイド情報誌を活用し、イベントブース出展を行うとともに、ブースにおいて「Instagram“にしまる探検隊”」のPRを行うことで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

■参考 (Instagram：1月22日現在)
 投稿数：42件 フォロワー数：382人



西区Instagram投稿写真(一部)



西区フォトコンテスト受賞作品



西区フォトコンテストパネル展
(マークイズみなとみらい)

安全・安心なまちづくり

ケ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,290千円(対前年度比 641千円増)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、啓発キャンペーン活動や交通安全教室の開催、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を強化します。

(1) 小学校への交通安全教育事業 (550千円) 【新規】

既存の交通安全教室に加えて、保護者も含めて、新たな体験型や教材による交通安全教室を全校で展開し、交通ルールを守る大切さや無謀運転の危険性を学ぶことができるよう強化します。



はまっこ交通安全教室(歩き方、自転車の乗り方教室)

(2) 交通安全運動推進事業 (539千円)

各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、新たなパネル展や啓発物品の配付等により区民をはじめ、多くの市民へ交通事故防止を呼びかけます。



春の全国交通安全運動



秋の全国交通安全運動

(3) スクールゾーン等への対策 (1,201千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。

コ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,008千円(対前年度比 996千円増)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化します。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業 (358千円)

被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信、手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起等を継続的に行います。

また、特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカーの配布、「地域安全西区民のつどい」の開催等により防犯意識の啓発を行い、犯罪被害の抑制を図ります。

(2) 青色パトロールの拡大実施 (1,650千円) 【新規】

昨今増加している特殊詐欺対策のため、戸部警察署と協力して行う青色(防犯)パトロールを委託化することで出動回数等を増やし、防犯啓発活動を強化します。

■参考(特殊詐欺発生状況)

平成30年: 1億500万円(件数: 32件) ← 平成29年: 約5,000万円(件数: 32件)



防犯啓発チラシ



特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカー

サ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,773千円(対前年度比 2,899千円増)】

(1) 地域防災拠点の機能強化 (2,151千円)

① 地域防災拠点訓練等の実施

発災時に各地域防災拠点(以下、「拠点」)が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します(9月及び1~3月、年2回)。



平沼小学校地域防災拠点訓練

② 多様な避難者への対応支援

横浜市立大学と共同で作成した「拠点カルテ[※]」を活用し、現状と課題の分析を進めます。要援護者やペット連れの方など様々な避難者に対し各拠点の実情に対応した支援を実施します。

※拠点カルテとは、運営面、施設面など様々な視点から各拠点の現状を分析し、今後解決すべき課題等を共有できるようにするためのもの。

(2) 区本部の防災機能強化 (6,648千円)

① 河川水位上昇に係る調査の実施【新規】

全国有数のターミナル駅である横浜駅周辺地区における安全・安心を確保するため、昨今のゲリラ豪雨等に伴う河川水位の急激な変化要因等について大学及び事業者と共同で調査を実施します。

② 大規模イベントに向けた帰宅困難者対応訓練

大規模災害が発生し横浜駅周辺地区及びみなとみらい地区において、帰宅困難者が多数発生したことを想定し、避難所開設に向けたシミュレーション訓練を実施します。(7月)

③ 震災・風水害対策本部運営訓練

災害時の協定を締結した企業等と連携し、発災時の情報受伝達や避難所の開設等を想定したシミュレーション訓練を実施します。

④ 災害医療対策の推進

災害医療連絡会・災害時医療研修(2月)を通じて関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。また、医療救護隊巡回訓練(9月)や通信訓練(年6回)等実践を意識した訓練を実施します。

(3) 自助・共助の推進 (3,974千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプ設置促進事業では、西区全域に補助事業対象地域を拡大し、より一層の普及を図ります（平成31年度目標1,000個）。【拡充】
また、老朽化した初期消火器具等の更新費用の補助事業を引き続き実施します。

■参考（地震火災対策方針対象地域への感震ブレーカー補助実績）		
28年度：951個	29年度：689個	30年度（1月末時点）：256個

② 多言語版防災マップの作成【新規】

外国籍の住民でも避難所等の防災情報を容易に入手できるよう、防災マップを複数言語化し、ホームページ上でも提供します。

③ 幅広い世代を対象とした防災・減災啓発

次世代の防災の担い手となる中学生に向けたセミナーを西区中学校区5区で実施します。また、子育て世代向けリーフレット（31年3月作成）や小中学生向け防災ガイドを引き続き活用し、機会を捉えて啓発を行います。



岡野中学校防災セミナー

3-(3)-ア 西区における開発動向等について

地図	項目	概要
①	市民病院	別添資料「市民病院再整備事業の進捗状況」参照
②	横浜駅周辺浸水対策	<p>(1) (仮称) 神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業</p> <p>横浜駅周辺では 10 年確率降雨 (60mm/1 時間) に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30 年確率降雨 (74mm/1 時間) に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 29 年度 公共事業事前評価制度による評価 平成 30～32 年度 詳細設計・関係機関等協議 平成 32 年度 工事着手予定 平成 42 年度 供用開始予定</p> <p>(2) 水位周知下水道・雨水出水浸水想定区域</p> <p>地下街周辺等の公共下水道水位の計測を行い、水位や雨量情報等から溢水を予測して、水防活動に活用することを目指した取組を進めます。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 30 年 1 月 横浜駅西口のマンホール 4 か所で計測開始 平成 30～32 年度 計測の継続、解析・周知方法の検討 平成 32 年度 水位周知下水道の指定、雨水出水浸水想定区域の指定 (予定)</p>
③	久保町防災広場等整備	<p>老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。整備後の防災広場の日常管理については、町内会と調整する予定です。</p> <p>【施設概要】 防災広場等</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 30 年 2 月 西区久保町第三自治会説明 平成 30 年度 測量作業、設計作業 (道路) 平成 31 年度 用地取得、設計作業 (広場) (予定) 平成 32 年度 工事 (防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備) (予定) 平成 33 年度 移管手続 (予定)</p>

④	伊勢町公舎跡地	<p>約 2 ha の土地のうち北側約 15,200 m²は、住友不動産㈱が平成 26 年度に県から取得。現在、集合住宅、保育所が建設されています。</p> <p>土地取得時の地域要望に応え、敷地中央を東西に横断する歩行者通路、及び敷地北側に隣接する『西区地域活動ホーム』の避難路が当該敷地内に確保されます。</p> <p>【スケジュール】 平成 28 年 12 月 開発工事着工 平成 29 年 1 月 既存の敷地内横断通路を閉鎖（竣工まで） 平成 29 年 2 月 建築工事着工 平成 31 年 2 月 竣工予定</p> <p>なお、南側の約 4,100 m²については市が取得し、隣接する伊勢町もくせい公園の拡張部として整備しました。平成 30 年 11 月に開園し、12 月 3 日に開園式典を行いました。</p>
⑤	東横線廃線跡地	<p>30 年度内、旧高島町駅付近の高架下を文化芸術事業に暫定活用することとし、8 月から「R16 国道 16 号線スタジオ」としてアーティスト・クリエイターが創作活動を開始しました。<u>その成果を 11 月 16 日～18 日の 3 日間で一般の方に公開し、地域の方や関係者など約 800 名の方にご来場いただきました。</u></p> <p><u>また、3 月には同会場にて入居アーティストによる展覧会を実施する予定です。</u></p>
⑥	旧横浜税関西戸部寮公園整備	<p>国家公務員宿舎跡地について、環境創造局が土地の取得を進めており、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】公園面積 約 1,500 m² 【スケジュール】 平成 29～31 年度 用地取得 平成 31 年度以降に建物解体、公園整備工事（予定）</p>
⑦	旧野毛山寮公園整備	<p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成 21 年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約 1,800 m² 【スケジュール】 平成 29～31 年度 用地取得 平成 30 年度 解体工事（平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月中旬） ※6 月に近隣説明会実施済 道路・公園整備に向けた調査・設計 平成 31 年度 公園設計（予定）、道路整備工事 平成 32 年度 公園整備工事（予定）、<u>道路整備工事（予定）</u> 平成 33 年度 <u>移管手続（予定）</u></p>
⑧	老松町 国公舎跡地	<p>国の公務員宿舎跡地を活用して、特別養護老人ホームを整備します。公募で決定した事業者が、今年度建築工事に着手する予定です。</p>

		<p>【施設概要】 事業者：社会福祉法人 白梅（しらうめ）福祉会 定員：入所 90 名、ショートステイ 10 名</p> <p>【スケジュール】（予定） 平成 30 年 6 月 中高層条例に基づく近隣への計画説明会 平成 30 年 8 月 既存建物解体工事説明会（国が実施） 平成 30 年 8 月～30 年 12 月 解体工事（国が実施） 平成 31 年 1 月 21 日 建物工事着工 平成 32 年 1 月 竣工予定 平成 32 年 4 月 開所、入居開始</p>
⑨	野毛山公園プール 跡地公園整備	<p>野毛山公園プールは老朽化のため平成 21 年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として、整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】 土地面積 約 6,200 m² 【スケジュール】 平成 30～31 年度 公園計画の検討 平成 32 年度以降に所管替え、公園設計、公園整備工事（予定）</p>
⑩	横浜駅周辺（別紙⑩参照）	
	横浜駅西口	<p>東日本旅客鉄道(株)は[1] <u>J R横浜タワー(商業施設・業務施設等)の建設を進めており、平成 30 年春に J R横浜鶴屋町ビル(駐車場・保育所等)の建設に着手しました。また、[9]中央南コンコースと南コンコースを結ぶ新たな地下通路とホームへのエレベーターを整備し、バリアフリー化を図ります。</u></p> <p>さらに、(株)相鉄アーバンクリエイツによって[2] (通称)馬の背解消事業(地下街側延伸・接続工事)が進められています。29 年度末に中央自由通路から西口地下街への接続通路の一部が仮開通し、<u>30 年末には岡田屋モアーズ側にも新たに階段・エスカレーターが設けられました。</u></p> <p>これらの事業に合わせて、[3][4]西口駅前広場についても再整備に向けて設計を進め、<u>31 年度から工事に着手します。</u></p> <p>また、神奈川県になりませんが、[5]横浜きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、平成 31 年度中の工事着手を目指しています。</p> <p>【スケジュール】 平成 31 年 4 月 <u>[3]中央西口駅前広場の整備工事着手</u> 7 月 <u>[4]きた西口駅前広場の整備工事着手</u> 平成 32 年 3 月 <u>[2]馬の背解消事業完了</u></p> <p>平成 31 年度 <u>[5]横浜きた西口鶴屋地区再開発工事着手</u></p> <p>平成 32 年度 <u>[1]駅ビル開業(春頃)</u> <u>[3]中央西口駅前広場の改修完了</u> <u>[4]きた西口駅前広場の改修完了</u></p>

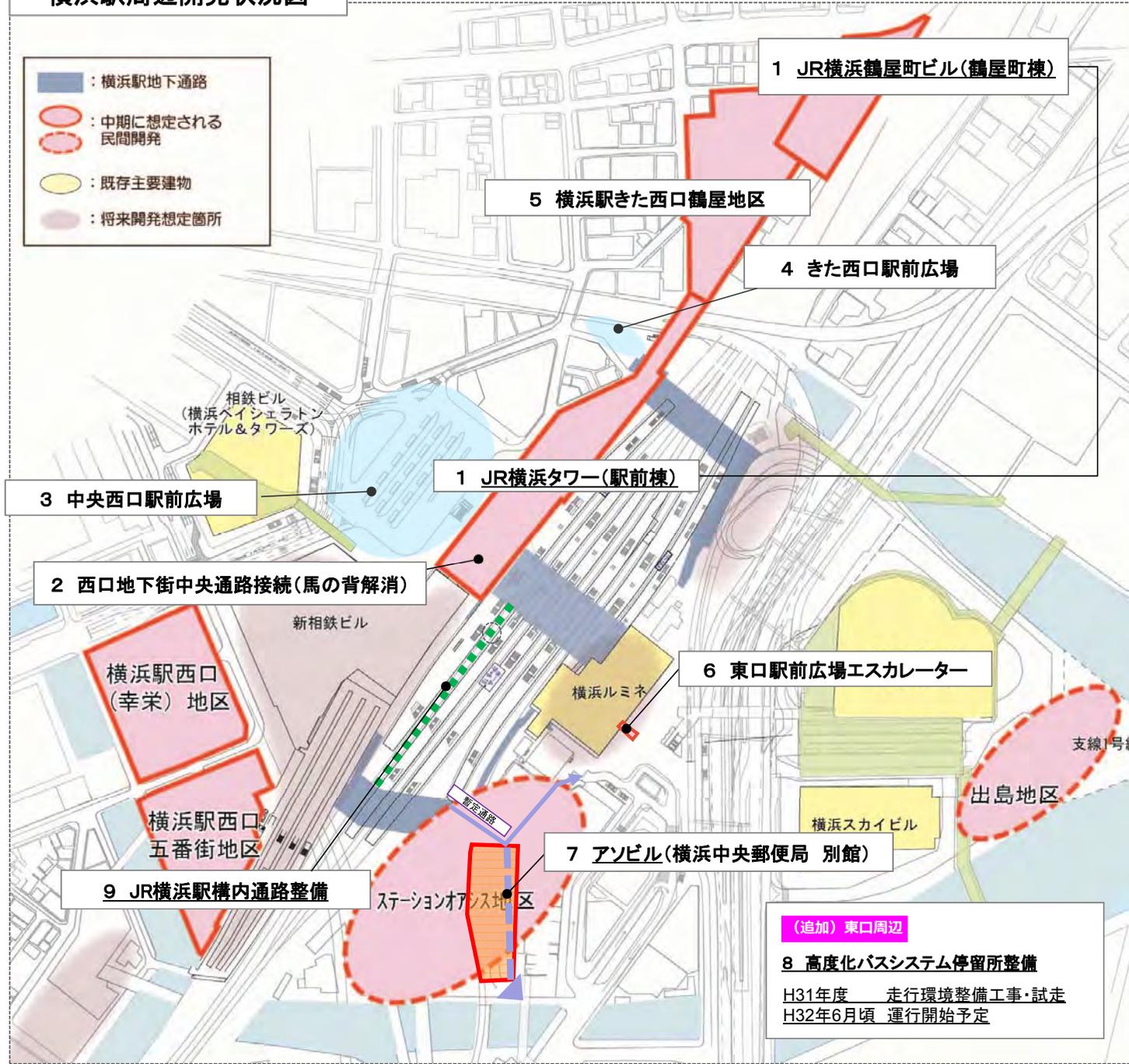
		<p>■20 街区M I C E 施設運営事業</p> <p>既存パシフィコとの一体的な運用を目指すため、整備事業とは別に(株)横浜国際平和会議場を運営事業者として決定し、平成 29 年 3 月に実施契約を締結しました。同契約に基づき、運営事業者にて施設の利用規則及び利用料金を策定し、平成 29 年 5 月より施設の予約受付を開始しています。</p> <p>平成 30 年 2 月に施設の名称が決定しました。(正式名称：横浜みなとみらい国際コンベンションセンター、通称：パシフィコ横浜ノース)</p> <p>【スケジュール】 平成 32 年春 M I C E 施設 オープン予定</p>
赤②	MM21 地区 臨港幹線キング軸 デッキ整備事業 (50-20 街区)	<p>20 街区 MICE 施設整備事業と合わせ、20 街区と 50 街区を結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港幹線キング軸デッキを整備します。これにより、地区内における来街者等の利便性、安全の確保を図ります。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年 7 月 着工 平成 32 年 4 月 供用予定</p>
赤③	MM21 地区 61 街区の一部 ミュージアム	<p>日本テレビ音楽(株)によって、現在 48 街区にある横浜アンパンマンこどもミュージアム&モールの移転のための工事が進められています。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年 3 月 着工 平成 31 年夏 オープン予定</p>
赤④	MM21 地区 54 街区 オフィス、店舗	<p>清水建設(株)によって、オフィスビルが建設中です。低層部には店舗やカンファレンススペースが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成 29 年 8 月 着工 平成 32 年 2 月 竣工予定</p>
赤⑤	MM21 地区 66 街区-56 街区間 デッキ整備事業 (66-56 街区)	<p>横浜駅とみなとみらい 21 地区を結び、歩行者が円滑に移動できる歩行者ネットワークとして、66 街区と 56 街区間のデッキを整備します。56 街区の開発と合わせて、京浜急行電鉄株式会社が事業者となります。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年 10 月 着工 平成 31 年秋 完成予定</p>
赤⑥	MM21 地区 56-1 街区(北側) オフィス、ミュージアム	<p>京浜急行電鉄(株)によって、本社ビルが建設中です。保育所と 1 階にはミュージアムが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成 29 年 4 月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成 29 年 7 月 着工 平成 31 年 6 月 竣工予定</p>

赤⑦	MM21 地区 56-2 街区(南側) 化粧品研究施設	<p>(株)資生堂によって、化粧品の研究施設としては世界最大規模の施設が建設中です。1・2階を「オープンコミュニケーションスペース」とし、来街者と研究員が交流できる店舗やミュージアムとなる予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成 27 年 11 月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成 28 年 10 月 着工 平成 31 年 2 月 竣工予定</p>
赤⑧	MM21 地区 47 街区の一部 オフィス、音楽ホール、ホテル等	<p>三菱地所(株)によって、事務所、ライブハウス型ホール、ビジネスホテル等からなる複合施設が建設中です。施設完成後、オフィス及びホール部分は(株)コーエーテクモゲームスに譲渡し、(株)コーエーテクモゲームスの本社機能が移転する予定です。また、ホールは「Zepp」、ホテルは「東急 REI ホテル」となる予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成 29 年 4 月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成 29 年 12 月 着工 平成 32 年 1 月 竣工予定</p>
赤⑨	MM21 地区 47 街区の一部 オフィス、研究所	<p>(株)村田製作所によって、村田製作所みなとみらいイノベーションセンターの整備工事に着工しました。</p> <p>【スケジュール】 平成 29 年 11 月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成 30 年 5 月 着工 平成 32 年 9 月 竣工予定</p>
赤⑩	MM21 地区 43 街区 大学	<p>学校法人神奈川大学によって、大学の新しいキャンパスの設置が建設中です。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年 9 月 本体着工 平成 33 年 4 月 開校予定</p>
赤⑪	MM21 地区 38 街区 コンサートアリーナ	<p>ぴあ(株)によって、収容客数 1 万人規模の大型コンサートアリーナが建設中です。 平成 29 年 11 月に企業立地促進条例に基づき事業計画が認定されました。</p> <p>【スケジュール】 平成 29 年 12 月 着工 平成 32 年春 オープン予定</p>
青①	MM21 地区 臨港パークデッキ 整備事業 (20 街区-臨港パーク)	<p>20 街区 MICE 施設整備事業と合わせ、20 街区と臨港パークを結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港パークデッキを整備します。</p> <p>【スケジュール】 平成 30 年度 整備工事 平成 32 年 4 月 供用予定</p>
青②	MM21 地区 60・61 街区 音楽アリーナ、	<p>(株)ケン・コーポレーションにより、音楽アリーナ、ホテル、オフィス、展示施設の複合開発が計画中です。 音楽アリーナは、収容人数約 2 万人を予定し、音楽イベントに特化したアリーナとしては世界最大級の施設となる見込みです。</p>

	ホテル、オフィス、 展示施設	<p>【スケジュール】</p> <p>平成 31 年 6 月 着工予定 平成 33 年度 竣工予定</p>
青③	MM21 地区 58 街区 オフィス、店舗、プ ラネタリウム	<p>鹿島建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、住友生命保険相互会社によっ て、オフィスを主体とした複合開発が計画中です。</p> <p>低層部には、みなとみらい地区初となるプラネタリウムのほか、イン キュベートオフィス（起業支援を目的とした）や診療所等の設置が予 定されています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 31 年 4 月 着工予定 平成 33 年 7 月 竣工予定</p>
青④	MM21 地区 55-1 街区 研究所、オフィス	<p>LGエレクトロニクスジャパン(株)によって、研究所が計画中です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 <u>31 年 6 月</u> 着工予定 平成 <u>34 年 3 月</u> オープン予定</p>
青⑤ <追加>	<u>MM21 地区</u> <u>44 街区</u> <u>ホテル</u>	<p><u>積水ハウス(株)により、MM地区内初の外資系ラグジュアリーブランド</u> <u>のホテル「ウェスティンホテル横浜」が計画中です。</u></p> <p>【スケジュール】</p> <p><u>平成 31 年 10 月 着工予定</u> <u>平成 34 年 5 月 オープン予定</u></p>
青⑥	MM21 地区 38 街区 オフィス	<p>首都高速道路(株)により、事務所の設置が計画中です。現在神奈川区に ある神奈川管理局が移転予定であり、神奈川地区における首都高速道 路の防災拠点となる施設です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 31 年 4 月 着工予定 平成 33 年 3 月 竣工予定</p>
黄①	MM21 地区 62 街区 <u>(公募結果公表)</u>	<p><u>平成 30 年 4 月 27 日～9 月 28 日に公募を行いました。事業予定者決</u> <u>定には至りませんでした。(平成 30 年 12 月 26 日公募結果公表)</u></p> <p>敷地面積約 22,188 m²</p>
黄②	MM21 地区 53 街区 <u>(審査中)</u>	<p>平成 30 年 7 月～12 月に再公募を行い、<u>2 件の提案応募がありました。</u> <u>現在、提案審査中です。</u></p> <p>敷地面積約 20,620 m² 土地売却 建物用途 業務、商業、文化施設等（住宅等の居住機能は不可）</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成 30 年 7 月 23 日～12 月 14 日 提案受付 平成 31 年 3 月 事業予定者決定(予定)</p>

横浜駅周辺開発状況図

: 横浜駅地下通路
 : 中期に想定される民間開発
 : 既存主要建物
 : 将来開発想定箇所



1 JR横浜タワー(駅前棟)

事業者:東日本旅客鉄道(株)
 階数:地上26階、地下3階建て
 高さ:約135m
 用途:商業、業務施設等

H27年度 工事着手
 H32年春頃 開業(予定)

1 JR横浜鶴屋町ビル(鶴屋町棟)

事業者:東日本旅客鉄道(株)
 階数:地上9階
 高さ:約31m
 用途:駐車場、保育所等

H30年春 工事着手
 H32年春頃 開業(予定)

2 西口地下街中央通路接続(馬の背解消)

事業者:(株)相鉄アーバンクリエイツ
 H30年3月 接続通路の一部仮開通済み
 H32年3月 竣工(予定)

3 中央西口駅前広場

H31年4月 工事着手(予定)
 H32年度 改修完了(予定)

4 きた西口駅前広場

H31年7月 工事着手(予定)
 H32年度 改修完了(予定)

5 横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル)

事業者:横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
 階数:地上44階
 高さ:約180m
 用途:住宅、ホテル、商業施設等

H29年度 再開発組合設立
 H31年度 建築工事着手(予定)
 H33年度 竣工(予定)

6 東口駅前広場エスカレーター

H30年度 工事着手・竣工(予定)

7 アンビル(横浜中央郵便局 別館)

H31年春~平成33年度(予定) 暫定活用
 平成31年3月15日オープン予定

5 横浜駅きた西口鶴屋地区

4 きた西口駅前広場

6 東口駅前広場エスカレーター

7 アンビル(横浜中央郵便局 別館)

(追加) 東口周辺

8 高度化バスシステム停留所整備
 H31年度 走行環境整備工事・試走
 H32年6月頃 運行開始予定

(追加) JR横浜駅構内通路整備

H32年夏頃 使用開始(予定)

① 建設中 20: みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業 企業促進

施設名称	[MICE施設] 横浜みなとみらい国際コンベンションセンター	[ホテル] 横浜ペイコト倶楽部ホテル&リゾートザ・カラ・ホテル&リゾート横浜
通称	パシフィコ横浜ノース	
事業主体	横浜市、株式会社横浜グローバルMICE	リゾートトラスト株式会社
規模等/高さ	地上6・地下1階/約36m	地上14階地下1階/約50m
敷地/延床面積	約21,000㎡/約47,000㎡	約9,500㎡/約48,000㎡
施設	多目的ホール、会議室等	ホテル
オープン	平成32年春季予定	平成32年初夏予定

② 建設中 50-20: 臨港幹線キング軸 デッキ整備事業

事業主体 : 都市整備局、港湾局
 規模等 : 幅員15m (うち歩行者通行部 8m)、延長約56m
 供用開始 : 平成32年4月予定

③ 建設中 61の一部: 横浜アンパンマン子どもミュージアム&モール 移転プロジェクト

事業主体 : 日本テレビ音楽株式会社
 規模等/高さ : 地上4階/約18m
 敷地/延床面積 : 約5,700㎡/約14,000㎡
 施設 : ミュージアム、店舗
 オープン : 平成31年夏予定

④ 建設中 54: 横浜グランゲート

事業主体 : 清水建設株式会社
 規模等/高さ : 地上19階/約100m
 敷地/延床面積 : 約13,500㎡/約101,000㎡
 施設 : 事務所、店舗等
 竣工 : 平成32年2月予定

⑤ 建設中 66-56: デッキ整備事業 (変更) 計画中⇒建設中

事業主体 : 京浜急行電鉄株式会社
 規模等 : 幅員4.0m、延長 約38m
 供用開始 : 平成31年夏

⑥ 建設中 56-1: (仮称) 京急グループ 本社ビル 企業促進

事業主体 : 京浜急行電鉄株式会社
 規模等/高さ : 地上18階・地下1階/約86m
 敷地/延床面積 : 約3,600㎡/約26,000㎡
 施設 : 事務所、展示スペース、保育所等
 竣工 : 平成31年6月予定

⑦ 建設中 56-2: (仮称) 資生堂グローバルイノベーションセンター 企業促進

事業主体 : 株式会社資生堂
 規模等/高さ : 地上16階・地下1階/約78m
 敷地/延床面積 : 約6,500㎡/約58,000㎡
 施設 : 事務所、化粧品研究所、店舗等
 竣工 : 平成31年2月予定

⑧ 建設中 47の一部: (仮称) MM21地区 47街区開発計画 企業促進

事業主体 : 三菱地所株式会社
 規模等/高さ : 地上15階・地下1階、高さ約81m
 敷地/延床面積 : 約8,700㎡/約37,000㎡
 施設 : 株式会社コーエーテクモゲームス本社 東急REIホテル、ホール、店舗等
 竣工 : 平成32年1月予定

MM21地区 開発状況図 平成31年1月4日 時点



⑨ 建設中 47の一部: 村田製作所みなとみらいイノベーションセンター 企業促進

事業主体 : 株式会社村田製作所
 規模等/高さ : 地上18階、地下2階、高さ約100m
 敷地/延床面積 : 約7,400㎡/約66,000㎡
 施設 : オフィス、研究所等
 竣工 : 平成32年9月予定

⑩ 建設中 43: 学校法人神奈川大学 みなとみらいキャンパス (仮称) (変更) 計画中⇒建設中

事業主体 : 学校法人神奈川大学
 規模等/高さ : 地上21階・地下1階/約97m
 敷地/延床面積 : 約7,850㎡ / 約49,000㎡
 施設 : 大学、研究施設等
 オープン : 平成33年4月

⑪ 建設中 38の一部: (仮称) MMアリーナ計画 企業促進

事業主体 : びあ株式会社
 規模等/高さ : 地上4階、地下1階、高さ約33m
 敷地/延床面積 : 約12,000㎡/約21,800㎡
 施設 : アリーナ他
 オープン : 平成32年春季予定

赤色:建設中
 青色:計画
 黄色:公募対象

① 計画 20-臨港パーク: 臨港パーク デッキ整備事業 ⑪

事業主体 : 港湾局
 規模等 : 幅員8m、延長約20m
 供用開始 : 平成32年4月予定

② 計画 60・61の一部: Kアリーナ プロジェクト

事業主体 : 株式会社ケン・コーポレーション
 規模等/高さ : 地上21階、高さ約90m
 敷地/延床面積 : 約30,250㎡/約67,200㎡
 施設 : 音楽アリーナ、ホテル、オフィス、博物館
 オープン : 平成33年度予定

③ 計画 58: (仮称) 横浜ゲートタワー プロジェクト

事業主体 : 鹿野建設株式会社、住友生命保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社
 規模等/高さ : 地上21階、地下1階、高さ約114m
 敷地/延床面積 : 約9,300㎡/約80,500㎡
 施設 : オフィス、ブライダル等
 竣工 : 平成33年7月予定

④ 計画 55-1: (仮称) LGグローバル R&Dセンター

事業主体 : LG Electronics Japan株式会社、LG Holdings Japan株式会社
 規模等/高さ : 地上16階・地下1階/約93m
 敷地/延床面積 : 約4,000㎡/約35,700㎡
 施設 : 研究所、事務所等
 オープン : 平成34年3月予定

⑤ 計画 44の一部: (仮称) みなとみらい4街区計画 (追加) 企業促進

事業主体 : 積水ハウス㈱
 規模等/高さ : 地上24階、
 敷地/延床面積 : 約9,600㎡/約64,700㎡
 施設 : ホテル
 オープン : 平成34年5月予定

⑥ 計画 38の一部: (仮称) 首都高速道路(株) 神奈川局開発計画

事業主体 : 首都高速道路株式会社
 規模等/高さ : 地上10階、高さ約47m
 敷地/延床面積 : 約2,500㎡/約14,000㎡
 施設 : オフィス、駐車場
 竣工 : 平成33年3月予定

① 公募街区 (変更) 公募中⇒公募結果公表

62街区: 約22,188㎡
 提案受付: 平成30年4月27日~平成30年9月28日
 事業予定者決定: 平成30年12月 (不採択)

② 公募街区

53街区: 約20,620㎡
 提案受付: 平成30年7月23日~平成30年12月14日
 事業予定者決定: 平成31年3月予定

3-(3)-イ 市民病院再整備事業の進捗状況について

市民病院は、施設・設備の経年劣化や狭あい化を解消するため、三ツ沢公園に隣接した敷地で新病院の建設を進めています。

来年5月に予定されている開院に向け、今年度は、医療機器等の整備や病院総合情報システムの構築、運用計画の策定など、必要な準備を進めます。



公園側イメージ図

1 開院スケジュール

新病院建設工事は順調に進捗しており、来年1月末にしゅん工する予定です。その後、3か月程度の準備期間をはさみ、5月1日に開院する予定です。

なお、新病院の住所地は、診療棟がある神奈川区を予定しています。

年度	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	2019年度 (31年度)	2020年度 (32年度)	2021年度以降 (33年度以降)
内容	診療棟 建設	管理棟 建設	エネルギー棟 建設	● 開院準備 ● 開院 1月31日 (予定) 5月1日 (予定)	現病院解体後に野球場整備

2 工事の進捗状況について

診療棟は、地上部分の鉄骨を組み立てる工事を行っています。4月頃には鉄骨の組み立てが完了し、順次、外壁を取り付ける外装工事や、内部の仕上げ工事に着手する予定です。

また、エネルギー棟は地下の躯体工事を行っています。

管理棟は、基礎工事を行っています。4月頃から鉄骨の組み立てを行う予定で、建物と並行して病院の外構工事や一部道路の拡幅工事を行います。



3 地域のみなさまからの主なご要望と対応状況について

(1) 工事中の道路の渋滞対策について

ニッパツ三ツ沢球技場でJ1、J2の試合がある場合は、周囲の道路の渋滞が懸念されるため、原則、試合開始の2時間前には工事を終了するようにしています。

また、近隣マンション（パークスクエア三ツ沢公園）の解体・建替え工事が再開しておりますが、定期的な連絡会議を実施し、搬出入計画を共有し、交通災害の防止と交通渋滞の軽減に努めています。

(2) 騒音・振動などについて

騒音・振動計を工事用の仮囲いに4か所設置し、法律による規制値（騒音85dB、振動75dB）より厳しい値（騒音80dB、振動70dB）で管理しております。

また、夜間の照明については、ご意見箱などでご要望のあったところに追加で設置しています。



騒音・振動系とご意見箱

(3) 電線の地中化について

30年12月に道路局が策定した「横浜市無電柱化推進計画」において、第一次緊急輸送路と災害拠点病院（※）を結ぶ道路についても無電柱化を推進することとしています。事業化にあたっては道路局と連携を図ります。（※災害拠点病院：市民病院を含む市内13病院）

(4) 植栽について

旧野球場周辺にあったバラは、三ツ沢総合グランド入口バス停付近の花壇に移植されています。

また、桜などの高木も、管理棟敷地などへ移植しました。

最終的には、既存の本数よりも多い数を新植し、公園と一体的な空地として近隣にお住まいの方の憩いの場となるよう整備してまいります。



樹木の移植状況（管理棟敷地）

(5) 新病院管理棟の西側の一方通行道路について

管理棟の西側の一方通行道路については、通学時の安全面でも課題があるため、土木事務所が安全対策のため、今年度中に外側線（白線）の引き直しや、樹脂製ポールの設置を行う予定です。

(6) 廃止する横断歩道の代替措置について

道路拡幅にともない、公園入口付近の2か所の横断歩道を廃止しますが、県警との協議の結果、神奈川県立スポーツ会館近くの場所に代替の横断歩道を設置します。

横断歩道が移設されることによる、観客の誘導については、Jリーグ主催者と協議してまいります。

(7) バス停位置について

横浜市営バス87系統（市民病院循環）の三ツ沢総合グランド入口のバス停は、新病院のロータリー内に移設します。

また、宮ヶ谷のバス停については、バスベイ（歩道側に切れ込みを入れたような形で設けるバスの停車スペース）を新たに設け、バスの停車による渋滞を緩和します。そのため、バス停の位置は西側へ約20m移動する予定です。

そのほか、新しい市民病院の周辺のバスのルートについては、交通局と協議中です。

三ツ沢公園との一体性を重視した パークホスピタル

新病院は、隣接する三ツ沢公園との一体性を重視した「パークホスピタル」を設計コンセプトとしています。三ツ沢公園に隣接する利点を活かせるよう、交通アクセス向上を意図した大きなロータリーの設置、公園利用者にも利用しやすい利便施設の配置、大規模災害発生時のヘリポートとしての活用や、救命救急センターとの連携等を計画しています。



新病院の 位置



配置図

建設概要 / 施設規模

- 所在地
横浜市神奈川区三ツ沢西町34番地10ほか(診療棟)
横浜市西区宮ヶ谷25番地6(管理棟)
- 敷地面積 29,260.82㎡

診療棟 23,836.46㎡	管理棟 5,424.36㎡
-------------------	------------------
- 階数・構造
【診療棟】地下2階/地上7階/塔屋1階鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)
【管理棟】地上4階 鉄骨造(耐震構造)
【その他】エネルギー棟 他 鉄骨造(耐震構造)
- 建築面積
敷地全体 13,739.53㎡

診療棟 10,779.12㎡	管理棟 2,960.41㎡
-------------------	------------------
- 延床面積
敷地全体 80,122.60㎡

診療棟 67,266.64㎡	管理棟 10,857.47㎡
エネルギー棟 1,998.49㎡	
- 病床数 650床(うち感染症病棟26床)
(ICU・CCU14床/救命救急病棟28床/NICU・GCU(新生児集中治療室及び新生児回復室)21床/緩和ケア病棟25床)
- 診療科目
現行34科の診療領域を維持

2020年春 新病院開院

私たちは、安全で良質な医療を提供すると共に
「安心とつながりの拠点」として、市民の健康な生活に貢献します。



お問合せ

横浜市立市民病院

新病院推進課・新病院整備課

横浜市保土ヶ谷区岡沢町56
TEL : 045-331-1829
FAX : 045-332-5599
E-Mail : by-sh-suishin@city.yokohama.jp

新病院へのアクセス

- バス 横浜駅西口から約10分
- 地下鉄 市営地下鉄「三ツ沢上町」駅から徒歩で約15分
- 自動車 第三京浜道路 及び 首都高速神奈川2号三ツ沢線「三ツ沢」出口を下りてすぐ

地下駐車場
Parking space
約200台





メッセージ

Message

病院長 石原 淳

高齢化が進展する中で、今後さらに増加する医療需要と多様なニーズへの対応は、医療機関にとって大きな課題となっています。

新病院では、24時間365日対応の救急体制、小児・周産期医療の機能拡充、がんに対する高度で先進的な医療の提供など、高度急性期病院としての機能をさらに発揮できるよう計画しています。また大規模災害時には7日間自力稼働できるなど、市民の皆様の“安心”に応えます。

また、入院が必要な患者さんには、入院前から退院後の生活を見据えた計画についてスタッフが支援し、地域の医療機関、介護関連施設、在宅医療支援施設等とも相互に連携し、患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう“つながり”を育てていきます。

2020年に生まれ変わる横浜市民市民病院は“安心とつながりの拠点”として、市民の皆様の健康な生活にこれまで以上に貢献できるように職員一同取り組んでまいります。

院内イメージ



総合受付



外来待合

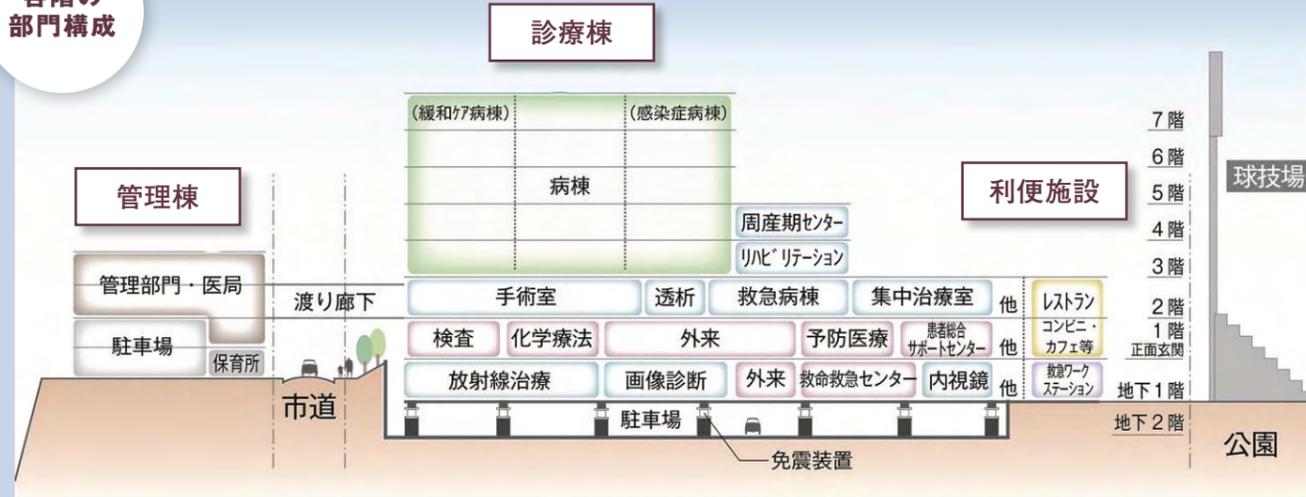


多床室 (4床室)



個室

各階の部門構成



新病院の主な特徴

市民の期待に応える、さらに「安心の医療」へ

新病院ではこれまで以上に需要が見込まれる「救急医療」、「小児・周産期医療」、「がん対策」に関する機能を充実・強化します。市内初の救急ワークステーションの整備、周産期センター機能の拡充や、最新の放射線治療機器の導入等の整備を行います。

途切れない「つながり」の支援を住み慣れた街で

入院前の面談の促進や、在宅療養の支援、地域医療機関との連携強化等、入院前から退院後まで一貫して関わることで入院期間にとどまらない支援を行います。

高度な医療と先進の技術で、多様なニーズを満たすために

手術室を増設し、先進的な手術や日帰り手術への対応力を強化します。

災害時にも揺るがない「拠点」として

診療棟を免震構造とし、災害拠点病院の機能を7日間維持できる備蓄・整備を行います。三ツ沢公園とも連携し、大規模災害時にも安心を提供できる体制を作ります。

「治す」だけでなく、「病気にならない」へ

これまでのがん検診に加え、新たに人間ドックなど予防医療型の健診を開始します。市民病院から「病気にならない」医療を提供していきます。

広く快適であること、自然を感じられること

より良い療養環境とするため、個室を113室から271室へ増室し、多床室も6床室から4床室とします。コンビニエンスストア、カフェ、レストランは三ツ沢公園隣接の便利施設棟に配置することで、公園からは利用しやすく、病院からは公園を身近に感じられます。

「安心とつながりの拠点」へ



手術

新病院では手術室が9室から15室へ

高度急性期病院として、腹腔鏡下手術や先進医療など難易度の高い手術を1年間で約6,000件実施しています。手術1件1件を安全に実施するため、麻酔科医が常に患者さんのそばで麻酔と手術の進行をコントロールし続けています。

新病院では手術室が9室から15室（開院時13室稼働予定）に増えます。これまで以上に安全を保ちながら、早期に手術が実施できる体制を整えます。

災害医療

7日間止まらない「最後の砦」

いつ起こるかわからない大規模災害に備え、災害派遣医療チーム（DMAT）を2隊編成し日々訓練を行い、「最後の砦」としての役割を果たしていきます。

新病院は大ターミナルの横浜駅に近い災害拠点病院として、外部からのライフラインが途絶えても7日間自立できる機能を備え、横浜市の災害医療の中心として、市民の皆様に揺るがない安心を提供します。



入院前面談

退院後を見据えたプロのサポート

入院が決まった患者さんやご家族が、入院までの間に身体的・精神的・社会的な準備を整え、安心して入院・治療に向き合っていくために「入院前面談」を行っています。

入院する患者さんと病院のスタッフをつなげる架け橋として患者さんを総合的にサポートしていきます。



地域連携

住み慣れた街とのつながりを大切に

患者さんがそれぞれの状態に適した医療を受けられるよう、地域の医療・介護関係機関などと、患者さんの紹介・逆紹介、定期的な会議や研修会の実施、医療機器の共同利用などを通じて、多面的な連携を行っています。

医療機関の役割がさらに分化していく中で、住み慣れた街・横浜で培った顔の見える関係を活かし、患者さんに最適な医療を提供する努力を続けていきます。

